

長期研修員室だより



学びはそこにある

能古島小・中学校の岩本です。長期研修員室では、年齢も学校種も違うメンバーで過ごしています。その中で、研修員それぞれがもつ得意分野や専門分野の知識はもちろんのこと、校種ならではの、教育時事や教育界の流行、新しい情報など様々な学びがあります。これは堅い内容の議論の中だけでなく、普段の何気ないやり取りの中からも得ることができていると感じています。学びは自分から求めなければ手に入れることは難しいですが、一度意識すれば案外身の回りにもたくさんの学びがあるのではないかと感じています。自分から学ぶ姿勢は大切にしていきたいですね。

目を向けてみると...



校種を超えた学び



奥が深い...

福翔高等学校の大野です。高等学校から長期研修に参加しているのは私一人ですが、異校種の先生方から日々大きな学びを得ています。現場では小中学校の先生向けの教育書を読む時間がなかなかありませんでした。長期研修員の先生方と本の内容について議論したり、指導主事に勧めていただいた本を読んだりすると、どの校種にもあてはまる普遍的な授業の「論」が徐々に自分の中で発展していくのを感じられます。長期研修員室では、様々な校種の先生方が研究授業や読書を通じて授業の「論」を得て、日々議論をぶつけあっています。最後までしっかりと現場に役立つ見識を深めたいです。

活発な議論と意見交換

今津特別支援学校の山口です。今年度、小中学校や特別支援学校の授業研究会や協議会に参加をさせていただきましたが、個人的に一番有意義と感じたのは、長期研修員同士で行った模擬授業後の協議会でした。「どうしてこの方法なのか?」「〇〇を授業のねらいにするなら、●●は削った方が良い。」「でも、□□を優先するなら●●した方が良い!」など熱く議論し合うことは、この場所ならではの感覚です。子どもたちの障がい理解や支援方法はもちろんのこと、授業のねらいや授業の在り方など学びを深める機会を今後も大切にしていきたいです。

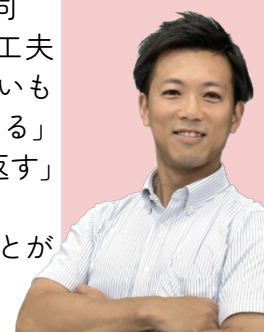
楽しい学び合い



デザインの重要性

金武中学校の中村です。今年度、学習会や研修会に向けて、スライドを作成する機会が多くあり、デザインの力を強く実感しました。よくアートと混同されがちですが、デザインは「ねらいの実現のために見た目や機能を創意工夫すること」であり、その考え方や原則は、誰もが身に付けておいて損がないものだと思います。例えばレイアウトには、「**整列**：複数の要素の位置を揃える」「**集合**：関連する情報は近づける」「**反復**：同じ要素を一定のルールで繰り返す」「**強弱**：優先度によって要素に強弱をつける」の4つの原則があります。これらを意識するだけで格段に伝わりやすい資料やスライドを作成できるようになります。ぜひ実践してみてください!

デザインの虜!



挑戦することの大切さ

吉岐中学校の西澤です。みなさんは今、何かに挑戦していますか? 私はよく生徒に「とりあえずやってみたら?」とアドバイスするのですが、自分自身が何かに挑戦するということはあまりありませんでした。そのことがずっと気になっていたのも、まずは自分が挑戦しようと思い、長期研修員として勤務することを決意しました。長期研修員として、今までは苦手意識をもっていたことでも、「とりあえずやってみよう!」という気持ちで色々なことに挑戦してきました。自分の中でうまくいったと思うこともあれば、あまりうまくいかなかったと思うこともありましたが、全部自分の財産となっています。みなさんも、小さなことからでいいので何かに挑戦してみませんか?



おしらせ

令和5年2月9日(木)、10日(金)、13日(月)の3日間、令和4年度長期研修員オンライン報告会を開催いたします。内容は、長期研修員各自が取り組んだ教育実践研究の報告です。詳細は別紙案内を出していますので、ご確認ください。

みなさまのご参会をお待ちしています!

お申し込みはQRコードより



2023.01.16 発行 教育センター人材育成課